

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙 「みらい」
NO. 4170
21年7月30日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

サービス残業撲滅に向け意識改革を

また、昼12時半の休憩時間には、帰局していただく社員の方が少数でした。また帰局はしていても午後の勤務時間開始前から道順組み立てを行っていた社員も多くいました。



おはようございます。東京オリンピックが開催中です。東京オリンピックの開催を巡っては、新型コロナウイルスの収束が見通せない中で賛否両論ありましたが、開催した以上は無事に閉会を迎えてもらいたいものです。

火曜日の未来(416号)でも触れましたが、土曜休配対策の施行が行われた連休明けの24日は多くの社員がサービス残業を行っていました。始業開始の午前8時前郵便物やゆうパケットを触っている社員が複数いました。この日は各班一名7時30分出勤の社員もいたのですが実際にはその人数を上回る社員が郵便を触っていて、誰が勤務時間中か、誰が勤務時間前着手なのかかわからない状態でした。

勤務時間を守るわけがありません。また、日曜、祝日など管理者不在時は、時間前着手のサービス残業が頻繁に行われています。現場を任せられている課長も特に注意することなく見てみぬふりです。

このサービス残業に関しては度々、未来に掲載されていますが一向に改善されません。未来に掲載すると管理者も目を光らせるようになり、一時的にはサービス残業は無くなったかのように見えますがまた、すぐに同じ状態になります。



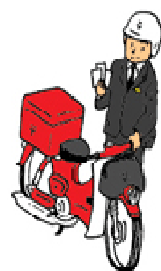
今、集配ではDcatが導入され、配達中にどこにいるのか把握できるようになっています。以前から指摘している休憩時間の偽入力なども調べればすぐに分かります。課長などは午前中の進捗率を把握するため、12時半すぎにDcatを確認します。その際、

位置情報で所在地も表示されるため、帰局してない社員は一目瞭然です。このことを毎日把握していながら注意しないという事は、昼休みの食い込みサービス残業を奨励しているのかと思われても仕方ありません。

毎朝、集配部の出発時に局長以下管理者が乗車訓練をチェックします。これは管理者の仕事の環境でしょう。それと同じように部下がサービス残業を行わないように勤務時間管理を行うのも管理者の仕事です。仕事は責任をもって行う事が不可欠です。

サービス残業は業務量に応じた適正な要員配置の数字も狂わせ、必要数より少ない配置の根拠とされます。他者より配達が遅いため仕方なくやっているという社員もいますが、多くは配達の早い社員です。自分で自分の首を絞める行為をずっとやるのですか！早く配ることが高評価となる時代は終わっています。会社が求めているのはスピードよりミスのない仕事です。昼休みを削って早く

帰局しても、大きな誤配事故一つで評価はマイナスとなります。社員も考える必要があります。長中局にはサービス残業に対してもっと真摯に向き合い、社員と共に撲滅に向け意識を変えてもらいたいのです。



2021長崎平和行動中止のお知らせ

例年支部が取り組んでいる平和運動についてお知らせします。

8月5日、6日の広島行動への派遣、8月7日、8日のピースサイクル、8月8日の平和を考える長崎集会は新型コロナウイルスの感染拡大により中止を決定しました。2年連続の中止となりましたがまずは命を守り選択が優先されます。来年は新型コロナウイルスが収束し平和行動が開催できる事を祈ります。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員に正社員化を。

ゆとり、均等待遇、なげんご差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利した！